

# アルミシェルター+防災テント

災害時に防災テントを設営できるアルミシェルターで、通常の設営タイプと簡易設営が可能なタイプの2製品を用意しています。



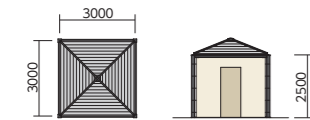
BYF-19D (本体) ¥2,930,000+消費税  
BYU-19D3 (テント) ¥500,000+消費税

## 通常タイプ



●W3000×D3000×H2500 (桁高)  
●BYF-19D : 715kg (本体) BYU-19D3 : 27kg (テント)

- 屋根▶アルミ鋳造パネル/合成樹脂焼付塗装仕上
- 桁・柱▶鋼材/溶融亜鉛メッキ下地、合成樹脂塗装又はポリ粉体塗装仕上
- テント地▶防災2級合格品 (BYU-19D3)
- 積雪対応▶1.5m未満
- ※多雪区域については弊社営業担当にお問い合わせください。
- ※設計風圧力は基準風速34m/s、粗度区分Ⅲを基に算出しています。
- ※テント利用は緊急時と捉え、本体及び基礎はテントが張られていない状態での構造検討としています。



※通風用を兼ねて対面にも同じ扉が付きます。(扉はファスナーで開閉)

### パイプフレームへの取り付け



テント膜はシェルター桁内側に設置しているパイプフレームにひもで取り付けていきます。屋根に登っての取り付け作業はないので安心安全です。

### 高強度のテント生地を採用



高い耐水・耐候性を持った、国土交通大臣認定膜材 (防災2級合格品) を使用しています。防災パーゴラのテントで使用されることが多い「ターポリン」と比較して引張強度に優れ、破損しにくい安心仕様となっています。

### テントの収納について

収納ベンチ (BBF-1200) 1基につき、シェルター1棟分のテントを収納することができます。(▶p.40、158)



### Vプロセス工法のアルミ屋根

薄肉鋳物ができて寸法精度が高い「Vプロセス鋳造」によるアルミパネル屋根を使用しています。(▶p.61)

### 溶融亜鉛メッキ下地の鋼材

休養施設の鋼材に溶融亜鉛メッキを施して耐久性を格段に高め、製品の長寿命化につなげています。(▶p.61)

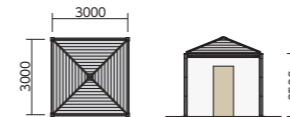
BYF-19F (本体) ¥3,000,000+消費税  
BYU-19F (テント) ¥500,000+消費税

## 簡易設営タイプ



●W3000×D3000×H2500 (桁高)  
●BYF-19F : 695kg (本体)  
BYU-19F : 18kg (テント)

- 屋根▶アルミ鋳造パネル/合成樹脂焼付塗装仕上
- 桁・柱▶鋼材/溶融亜鉛メッキ下地、合成樹脂塗装又はポリ粉体塗装仕上
- テント地▶ターポリン (BYU-19F)
- 積雪対応▶1.5m未満
- ※多雪区域については弊社営業担当にお問い合わせください。
- ※設計風圧力は基準風速34m/s、粗度区分Ⅲを基に算出しています。
- ※テント利用は緊急時と捉え、本体及び基礎はテントが張られていない状態での構造検討としています。



※通風用を兼ねて対面にも同じ扉が付きます。(扉はファスナーで開閉)

### 設営が簡単に



桁下のアルミテントバー中央からテント膜を差し込むように入れて左右にスライドさせながら広げることによって簡単に取り付けすることができます。また、四隅もナイロンベルトを使用することで簡単に柱への固定ができます。

### 設営時間の短縮



通常タイプの防災テントシェルターにおけるテントの設営時間は2人で約30~40分ですが、本製品は設営時間が2人で約15~20分と、大幅に設営時間を短くすることができます。

### 軽量のターポリン生地を採用



本製品では簡易的な設営を目的としていること、設営時に破損に繋がりにくい屋根膜がないことから軽量のターポリン生地を採用しています。

### テントの収納について

収納ベンチ (BBF-1200) 1基につき、シェルター1棟分のテントを収納することができます。(▶p.40、158)



### Vプロセス工法のアルミ屋根

薄肉鋳物ができて寸法精度が高い「Vプロセス鋳造」によるアルミパネル屋根を使用しています。(▶p.61)

### 溶融亜鉛メッキ下地の鋼材

休養施設の鋼材に溶融亜鉛メッキを施して耐久性を格段に高め、製品の長寿命化につなげています。(▶p.61)